

# シラユキコヤガ

*Eulocastra sasakii* Sugi  
チョウ目・ヤガ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

分布は秋田県、福井県、岐阜県、愛知県の小規模な湿地に局限され、湿地環境の悪化によって生息地が狭められている。県内ではあわら市（旧金津町）の湿地で記録があるのみで、生息状況の把握が必要である。

## 種の特徴

開張 16 mm内外。前翅は純白色で横線は暗灰色。基部前縁に小さな斑紋がある。小規模な湿地に生息し、成虫は7月にみられる。食草は不明。

## 分 布

本州（秋田県、福井県、岐阜県、愛知県）に分布。県内ではあわら市笹岡での1994年の記録があるのみである。

## 生息を脅かす要因

湿地開発が脅威となる。既知生息地を含め、県内での湿地環境の悪化が懸念されることから、調査の継続が必要である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、井崎（1971）、環境省（2015）、岸田（2011b）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
													○				

# ギンモンアカヨトウ

*Plusilla rosalia* Staudinger  
チョウ目・ヤガ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

全国的に安定した分布域はないと判断されており、県内でも1964年以降の記録がない。生息に関する情報が不足している。

## 種の特徴

開張 21～28 mm。触角は糸状。前翅地色は赤紫色、中央帯は褐色を帯び、内・横線に銀白色の線があらわれる。後翅地色は淡褐色で濃色の横脈紋及び外横線があらわれる。低湿地や河川敷に生息し、食草はヤナギタデ。成虫は年2回以上、4～9月に出現する。

## 分 布

北海道～九州に分布。県内では大野市鳩ヶ湯、越前市池泉町、小浜市竹原で記録があるが、最も新しい記録は1964年であり、近年の記録はない。

## 生息を脅かす要因

河川開発・湿地開発が脅威となる。県内でも湿地や河川敷の環境は悪化しており、調査の継続が必要である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、井崎（1971）、環境省（2015）、岸田（2011b）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
					○							○				○	

# アルプスギンウワバ

*Syngrapha ottolenguii nyiwonis* Matsumura  
チョウ目・ヤガ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内では三ノ峰でのみ生息が知られるが、1995年以来確認されていない。生息地は白山国立公園特別保護地区内で環境は保全されているが、登山客の増加の影響が懸念され、今後注視が必要である。

## 種の特徴

開張 33～36 mm内外。高山蛾。地色は灰銀色で黒褐色の紋がある。新鮮な個体では紫色を帯び、U字紋は角張る。銀紋の形状には個体変異がある。高山帯や寒冷地の高層湿原に生息し、食草はコケモモ、ガンコウラン。成虫は7～8月にみられる。

## 分 布

北海道、本州（東北地方、中部地方の亜高山～高山帯）に生息。これまで石川県の加賀白山が分布の西限とされてきたが、三ノ峰でもみつけた。

## 生息を脅かす要因

県内の生息地は白山国立公園特別保護地区に指定され、環境は保全されているが、登山客の増加に伴う亜高山帯の植生の踏み付け等の影響が懸念される。1995年以来本種の記録がなく、調査の継続が必要である。

参考文献 岸田（2011b）、下野谷・梅村（2012）

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	